

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	五十嵐 靖博	所属	山野美容芸術短期大学
研究会等名称	批判心理学会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員           41名 (うち認定心理士       4名) 非会員        8名 (うち認定心理士       0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 下記の研究集会を主催した.</p> <p>① 第17回批判心理学セッション 日時：5月30日(日), 午後2時開会 開催形式：Zoomによるオンライン開催 発表者と発表タイトル 1.五十嵐 靖博 (山野美容芸術短期大学) 「“帰還困難区域でないにも関わらず、いまだ避難指示が続いている区域”：福島原発事故報道に関する1人称の感情体験のディスコース分析」 2.いとう たけひこ (和光大学) 「米国心理学会投稿マニュアル第7版(2020)の新基準 JARS：質的研究者 VS 量的研究者の和解と連携のために」 3.増田 匡裕 (和歌山県立医科大学) 「対人コミュニケーション研究には30年前の文化心理学的自己観は無用；90年代の文化心理学なら Coleの方が有用では、どう使うか」 参加費：無料</p> <p>実施内容と成果： 福島第1原子力発電所事故に関わるディスコースと、APA投稿マニュアル、文化心理学における自己の概念をめぐって最新の研究成果の報告の後に、多くの討議が行われた。 日本における批判心理学の新たな発展の契機となる有意義な研究集会だった。</p> <p>② 第18回批判心理学セッション 日時：8月15日(日), 午後1時開会 開催形式：Zoomによるオンライン開催 発表者と発表タイトル 1.今道友昭 (ニューヨーク市立大学) 「CUNYにおける批判心理学」 2.増田匡裕 (和歌山県立医科大学) 「意味構造の分析法を用いれば批判的社会心理学と言えるのか：Q技法再考」</p> <p>実施内容と成果： 北米において日本人心理学者の視点から批判心理学に取り組む今道氏の最</p>		

近の研究教育実践と、コミュニケーションスタディーズの立場から社会心理学において新たな研究方法論を探究する増田氏の最新の研究を伺った。北米と日本における主流心理学と批判心理学の転回について、多くの新しい知見を得た。

③ 第19回批判心理学セッション

日時：11月14日（日）、午後1時開始

開催形式：Zoomによるオンライン開催

発表者と発表タイトル

1.いとう たけひこ（和光大学）「批判心理学における HITY 法の活用」

2.増田 匡裕（和歌山県立医科大学）「Q技法が見出す“オペラントな主観性”の“コミュニカビリティ”とは何か」

3.五十嵐 靖博（山野美容芸術短期大学）「『批判心理学とは何だろうか』という問題を再考する」

参加費：無料

主催者：日本心理学会 批判心理学研究会

実施内容と成果：

批判心理学の視点からのひとりの心理学者の研究生活の考察、Q技法による主観性の探究、批判心理学の概念的、歴史的再構成を主題として研究報告が行われた。いずれも今日の日本心理学における先進的な心理学実践であり、さらなる研究や教育、社会的実践を促す推進力を得た。

④ 第20回批判心理学セッション

日時：3月27日（日）、午後1時開始

開催形式：Zoomによるオンライン開催

発表者と発表タイトル

1.鈴木 聡志（東京農業大学）「主体性のディスコース分析」

2.増田 匡裕（和歌山県立医科大学）「Q-methodology の方法論から考える構成主義と構築主義」

3.いとう たけひこ（和光大学）「批判心理学的観点から見たある研究者の歩み」

参加費：無料

主催者：日本心理学会 批判心理学研究会

実施内容と成果：

日本におけるディスコース分析の主導者のひとりである鈴木氏による主体性に関する研究をめぐって、活発な討議が行われた。また増田氏によるQ技法の研究例の報告から、この方法論について理解を深められた。いとう氏による長年の研究生活の履歴を批判心理学の視座から考察する報告を受けて、批判心理学が根差す価値観や今後の発展の可能性を検討した。

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2021年 5月30日				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
4	増田匡裕	和歌山県立医科大学保健看護学部	○	
5	鈴木 聡志	東京農業大学教職・学術情報課程	○	○
7	今道友昭	ニューヨーク市立大学 ラガーディア校	○	
8	宇多仁美	和光大学大学院	○	
9	その他, 4名の参加者			
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2021年 8月15日				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
4	増田匡裕	和歌山県立医科大学保健看護学部	○	
5	鈴木 聡志	東京農業大学教職・学術情報課程	○	○
6	今道友昭	ニューヨーク市立大学 ラガーディア校	○	
7	井上孝代	明治学院大学名誉教授	○	○
8	その他, 6名の参加者			
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2021年 11月14日				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
4	増田匡裕	和歌山県立医科大学保健看護学部	○	
5	鈴木 聡志	東京農業大学教職・学術情報課程	○	○
7	今道友昭	ニューヨーク市立大学 ラガーディア校	○	
9	その他, 5名の参加者			
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2022年 3月27日				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
4	増田匡裕	和歌山県立医科大学保健看護学部	○	
5	鈴木 聡志	東京農業大学教職・学術情報課程	○	○
6	今道友昭	ニューヨーク市立大学 ラガーディア校	○	
8	その他, 4名の参加者			
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2022年 4月 26日

日本心理学会研究会 2021 年度会計報告書

研究会名称 批判心理学研究会

研究会番号 21,016

助成金額 ¥15,000

年 月 日	項 目	金 額
2021年5月7日	ZOOM会費	¥2,200
2021年8月7日	ZOOM会費	¥2,200
2021年10月7日	ZOOM会費	¥2,200
2021年12月21日	資料印刷用カートリッジ	¥1,536
2021年12月21日	資料印刷用カートリッジ	¥1,864
2022年1月30日	資料印刷用カートリッジ	¥1,536
2022年1月30日	資料印刷用カートリッジ	¥1,864
2022年3月7日	ZOOM会費	¥2,200
	支出合計	<u>¥15,600</u>